

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名	MOTIV SR2	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.470	△RG	0.047	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

テストボール：SR2

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 4 インチ

表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

研磨剤

番

比較対照ボール：SX1

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 4 インチ

表面加工

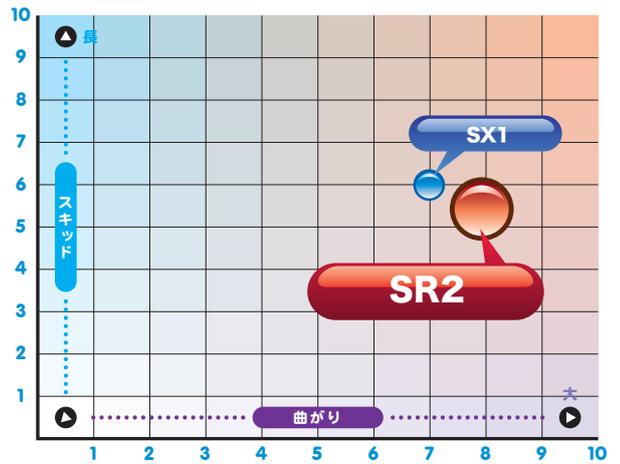
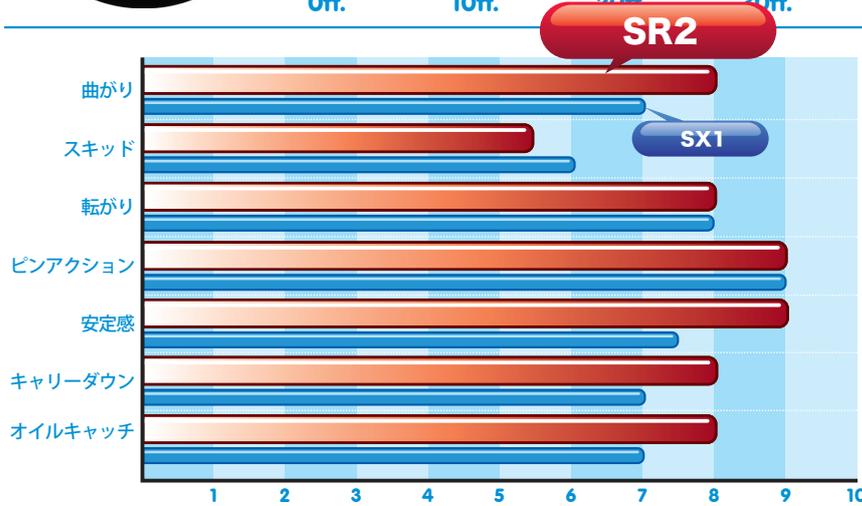
- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

研磨剤

番



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



ボールの評価

前作発表されたヘビーオイル対応のTR2カバーストックと先でのシャープな動きを魅せるSX1のコアとの融合。TR2に使用されたMOTIVAT-RカバーストックはMOTIVが持つ耐吸油性カバーストックの中でも吸油性カバーストックに属する素材であり、現在MOTIVから発売されているボールの中でも一番のキャッチ力を誇りました。

そのカバーストックを使い、前作TR2の表面加工#800仕上げを今回のSR2は#2000ポリッシュ仕上げをチョイスしています。ポリッシュ仕上げにしたことによる、スキッドを確保しながら回転動力をドライゾーンまで残し、鋭いフリップ感あるリアクションに変えているのがこのSR2のオイルに強いカバーストックの利点を活かしたリアクション性能です。

私が投げたイメージでは、MOTIVのボールの特徴とも言えるミッドエリアでの動き出しのフック状態は早めに感じるのですが、曲がり終わるとというイメージは全くなく、それどころか鋭くフリップ状に切れ込むリアクションが今までのMOTIVのボールとは異なる印象を受けました。メーカーの刻印なしとシリアルナンバーなしの状態のテストボールでボールの詳細を知らされていなかった私には、トラック社初代キネティックがオイルに強くなった感じと思わせるほど好印象で、後に知らされた時、間違いなく大ヒットになるボールと確信も致しました。

このボールの性能を生かすのであれば、表面加工は箱出しのままかスキッド部分調整の影響度が少ない#4000アブラロンまでに留め、リアクション性能を変えずにこれをオススメします。このSR2をもとにこれよりも曲がるボール、曲がらないボールという”基準”のボールとしては是非一度お試しください。

特記事項

スキッドから特徴的なフック移行、そして今までにMOTIVでは感じられなかったフリップ感のあるリアクション。自信作とも言える完成度の高いボールです。